

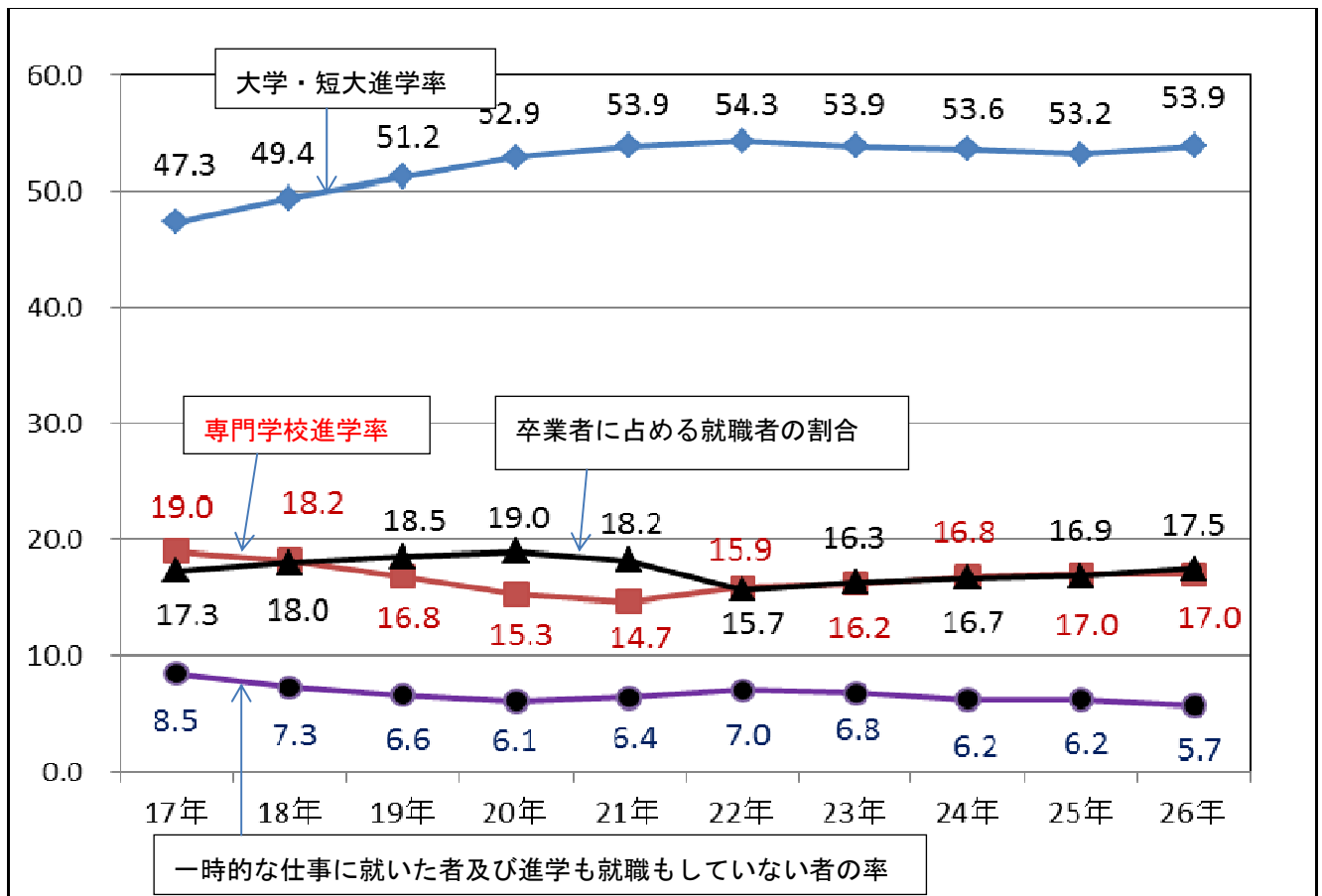
「26年 高校卒業者の進路」についての解説

進路情報研究センター

今回の表は、「全日制課程・定時制課程」の集計である（「全日制課程・定時制課程」の集計しか細かいデータが学校基本調査速報には掲載されていない）。これは、文部科学省が過去からの継続性から「中等教育学校後期課程」を除いて集計しているためである。

中等教育後期課程を含んだ集計は以下の通り。

	卒業者	大学・短大進学者 (率)	うち大学(学部)進学者 (率)	専修学校 (専門課程) 進学者(率)	就職者 (卒業者に占める就 職者の割合)	一時的な仕事に 就いた者(率)	進学も就職もしてい ない者(率)	その他(率)
24年3月	1,056,387	565,779 (53.6)	503,545 (47.7)	177,486 (16.8)	176,931 (16.7)	13,892 (1.3)	51,922 (4.9)	71,384 (6.8)
25年3月	1,091,614	581,144 (53.2)	517,416 (47.4)	185,588 (17.0)	184,656 (16.9)	13,623 (1.2)	53,951 (4.9)	73,637 (6.7)
26年3月	1,051,342	566,460 (53.9)	505,297 (48.1)	178,636 (17.0)	183,608 (17.5)	11,964 (1.1)	47,803 (4.5)	63,753 (6.1)



(注) 「一時的な仕事に就いた者及び進学も就職もしていない者の率」は四捨五入の関係で、上の表の数値の合計と同じにはならない場合がある。

「大学・短大進学率」等は上記の表や図の数値が公式には使用されるので注意すること。

「中等教育学校後期課程」を含む卒業者の進路の概略は以下の通り。

- 卒業者に占める就職者の割合は、4年連続で上昇し、17.5%（前年度より0.6ポイント上昇）。
→割合は継続して上昇しているが、就職者数は対前年比で減少している。高校卒業者を求人している企業にとっては、厳しい状況である。
- 大学（学部）進学率は（過年度卒を含む）は51.5%で、前年度より1.6ポイント上昇して過去最高。
- 専門学校進学率は横ばいで17.0%（前年度と同じ）。

（注）「大学（学部）進学率は（過年度卒を含む）」についての数値は今回の提供データには掲載されていない。

【参考】「専修学校（専門課程）の卒業者における就職状況」

今回発表の速報からではなく、昨年12月に発表になった「平成25年度学校基本調査」からまとめた。「専門学校は就職に強い」と言われるが、卒業者のうちに占める就職者の割合は79.7%と80%を切っている。また、「専門学校は中退が多い」と言われるが、検証してみた。このデータは完全に「一対一対応」はしないが、継続性から考えると、ほぼ実態に近い数値になろう。

	平成23年 入学者数 (人)	平成24年度間 卒業者数 (人)	差(人)	卒業率(%)
合計	263,618	222,831	-40,787	84.5
工業関係	35,251	29,153	-6,098	82.7
農業関係	2,534	2,343	-191	92.5
医療関係	70,435	58,006	-12,429	82.4
衛生関係	41,145	36,660	-4,485	89.1
教育・社会福祉関係	20,021	16,274	-3,747	81.3
商業実務関係	31,468	27,588	-3,880	87.7
服飾・家政関係	7,655	6,129	-1,526	80.1
文化・教養関係	55,109	46,678	-8,431	84.7

〈お願い〉この解説は、できるだけカラー印刷でご覧ください。